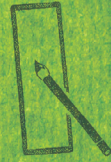


文芸きくち



万句の里俳句会 8月句会

盆提灯^{ちようどん}たたみてよりの追慕^{しゅうぼ}かな
青田風過疎村元氣取りもどす^{こもりぬ}
隠沼^{こもりぬ}にひそと咲きたる花藻かな
訪ひくれし友に風鈴鳴る日かな
真つ先を指先がゆく盆踊

隈部 輝子
田中 美智
中路 郁子
松永 久子
光本とよいち

せせらぎ俳句会 8月例会

ラムネ抜く音に母の手思ひけり
孫達とババ抜き遊び夏休み
炎天下打ち水けぶるアスファルト
朝蟬や老人ホームへ友行く日
台風^{たいふう}の近付く気配青田波

藤本 邦治
寺本 和子
五丁 義昭
藤本アツ子
森 正子

旭志文芸教室俳句の会 8月詠草

田から田へ青田の波は広がれり
半夏生熊本空襲まなうらに
七夕や手には折り紙智恵子抄
掛け軸や飛沫滴る瀧の文字
赤茄子の山積みしあり道の駅

芹川のり子
水谷 ミネ
芹川 蓉子
稗田 達恵
中尾ヨシコ

七城短歌会 8月詠草

夕陰に風の道あり足止めて散歩の汗の顔を拭くなり
夜の明けに玻璃窓を開けり網戸越し入りくる冷氣肌身にしみる
目覚む真夜門田の蛙鳴きさわぐ水潤うか代かくまでに
水張りし小さきプールに幼三人^{みち}はしゃぎて周囲みるみる泥沼
訪ねきて寂心さまに立ちつくす大樟樹齢六百余年

高木 精
佐々 重弘
嶋田 晴美
緒方 寛子
緒方 正俊

「里」短歌会 8月詠草

還暦を迎える生徒六十人校歌のころかみしめ歌う
「母ちゃんのカレーが一番」なつぞらの清しき言葉は私に触れる
高校総体力カヌー競技の孫たちは目にも止まらぬ早業見せて
歌会に座りて我を取り戻すわれにあらざる日々を過ごして
チアが飛びえんじ旗揺れるその向こうかすかに見える雨の学徒出陣

林 淑子
松本 和子
梶原美智代
坂本 玲子
江頭 桂子

溪流短歌会 9月詠草

土造り菊苗植ゑて安堵して今年も出来た八十六歳
八十歳行事予定や趣味講座ボードに書いて度々確認
新盆の梅雨の晴れ間にクマゼミのせわしき声よ命のかぎり
吾が一生^{ひとよ}言葉尽くせぬ歌のあり追憶さそふせせらぎの音
すずなりの小さきトマト色づきて夏の朝餉のサラダ鮮やか

山城 雅子
堤 よしみ
田中 遥子
中川 愛子
岩根 博恵

菊池短歌会 9月詠草

川に添ふ一筋の道 夏草の穂は晩節の静かな実り
新盆の母の奥津城^{おくつき}くさかげの落蟬の声もいつか絶えたり
早矢^{はやや}おさめ安堵の心に気を切らし次なる乙矢^{おとや} 中てに走れり
台湾からの引揚者にて我が屋根の小屋にぞ住めりあなたの家族は
不意に来る老の寂しさ遠花火寄り添ふように風鈴の音

怒留湯健春
安藤 則子
川口すみ子
古賀 勝士
中川 愛子

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。

万句の里俳句会
せせらぎ俳句会
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151
藤本 ☎0968(38)4087
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
「里」短歌会 溪流短歌会
木原 ☎090(5284)2418
菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285